

東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒102 東京都千代田区神田淡路町2-13-4-401 ソウマ労務管理事務所内
東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 ☎03(3251)5141 発行人 相馬誠一



ウインドサーフィン(江の島)

支部長就任にあたって

相馬 誠一



このたび、皆様のご推挙により、支部長を務めさせていただくことになりました。

当支部の歴史は、社会保険労務士会の歴史であると申しても過言ではないと思っております。この栄えある伝統の重みを、そして責任を、身の引き締まる思いで日に日に実感しております。

浅学非才な私ではありますが、会員及び役員諸兄のご指導とご協力をいただき、この大任を全うする覚悟でございます。何とぞ、今後共一層のご支援を賜りたく、切にお願い申し上げます。

なお、この2年間支部発展のために務めてこられた役員の方々には、これまでのご苦勞に心から感謝申し上げますと共に、今後とも支部の運営にお力ぞえをいただくよう重ねてお願い申し上げます。

さて、社会保険労務士はかつて、数ある士業のなかでも、仕事の中味の大切さとは裏腹に地道な、どちらかと言えば、陽の当たらない部類に入るような士業とみられてきたもの

でした。

しかし、多様化した雇用形態や、国際化が否応なしに日本の社会を変革してゆき、各企業の人事労務管理への変化が、社会保険労務士へのニーズを掘り起こす結果になってきていることは、時代の流れというものなのでありましょう。

また、その流れのなかで法制定20年を経過したこれからの歴史は、われわれが作っていかねばならないということは当然のことです。諸先輩の努力で道は開かれているのです。社会保険労務士の将来への確固たる地盤作りに一歩でも近づけたといえるような努力をしてみませんか。

会員の皆様自身のために、そして後から入会してこられる会員の方々のために、支部の活動を私と一緒にやっていただけませんか。それにはまず、会合への出席をすることからお願いしたいのです。「出席してよかった」と思える支部活動にしてゆきましょう。



就 任 の ご 挨拶

支部会長 田島 守

このたび、みなさんのご推せんにより浅学非才の私が千代田・中央支部の政治連盟の支部会長に選任され、その職務の重責を痛感しております。

当支部は東京都社会保険労務士会の中でも最大の規模を有するとともに、その組織活動においても名実ともに輝やかなしい業績を上げているところであり、政治連盟は支部との密接な連携のもと、労務士制度の改善・充実のための努力を傾注していくことが必要と考えます。

首相の諮問機関である経済審議会がさきに発表した“2010年への選択”は、私どもにとって示唆に富む内容に満ちていました。報告はそのキーワードを「地球」と「人間」に掲げ、「環境」と「労働時間短縮」を重視しながら経済成長のあるべき姿を描いています。今後20年間の見通しとして、わが国は成長鈍化（年平均実質経済成長率3・5%～2・75%）が予測され、そしてこの予測は、①労働

力人口の減少、②労働時間の短縮（1990年2052時間～2010年1700時間）を前提にしています。

まさに、豊かでゆとりのある生活への展望であります。その予測が成立するために省エネ対策へのあらゆる努力を求め、さらに「国際社会への貢献」のあり方も提言し、地球環境問題への取り組みや、ソ連・東欧への経済支援について、より広い視野に立った方向を打ち出しています。

今後ますます複雑・多様化する政治・経済・社会・文化、その中にあっての社会保険労務士の責務の重さを考えるとき、その裏付けとして、さらに社会保険労務士制度の改善・充実が必要であり、当政治連盟が法律改正等の推進母体としてのその活動を展開して行くゆえんがそこにあると考えます。

会員のみなさんのなおいっそうのご理解とご協力を切にお願いして、就任のご挨拶といたします。

■新しく当支部会員になられた方をご紹介します。

入会年月	氏名	地区町	開業・勤務等別	備考
平成3年3月	奥田 祐子	神田	勤務等	江戸川支部より
"	坂尾 義信	麹町	"	
"	宮本 修	神田	"	
"	竹内 昭彦	神田	"	
"	松島 正憲	神田	"	
平成3年4月	早川 二	麹町	"	港支部より
"	相原 勇	麹町	"	
"	梶原 ふき	神田	"	
"	小林 一	麹町	"	
"	永井 常	麹町	"	
平成3年5月	丸野 加	神田	"	葛飾支部より 渋谷支部より
"	池田 登	麹町	"	
"	谷林 章	麹町	"	
"	関島 康	日本橋	"	
"	村島 静	麹町	開業	

千代田・中央支部機構と委員会分掌業務表

支 部 長	相馬 誠一 (3251)5141	監 査	手塚 和男 (3551)3523	新堀 英行 (3254)1955
副支部長				
沢崎 昇 (3581)1231 渡辺 和洋 (3574)7572	総務 委員会	1. 会員の掌握, 連絡に関すること 2. 文書の起案, 発受信保管等庶務に関すること 3. 関係官庁等渉外に関すること 4. 金銭出納, 予算, 決算等会計に関すること 5. 諸会議の開催 6. その他, 他の委員会に属さない一切の事項に関すること	委員長 恩田 和明 (3256)4451 副委員長 小林 昭男 (3253)6966 " 雨宮 功 (3863)7633 委 員 仲野 三郎 (3265)0301 " 古川泰一郎 (3263)1781 " 橋高正風 (3553)3255 " 吉瀬君江 (3534)0294 " 長森敏泰 (3264)6871 " 石原健三 (3294)5307	
田島 守 (3544)2882 新井 功一 (3230)1751	研修 委員会	1. 研究会, 講習会等の企画・立案及び開催 2. 社会保険労務士業務の改善に必要な調査及び研究 3. 社会保険労務士業務に必要な資料, 情報等の収集に関すること 4. その他教育, 調査研究に関すること	委員長 柏木弘文 (3295)4651 副委員長 榊原昭夫 (3265)2611 " 森萩忠義 (3865)9521 委 員 小松茂樹 (3292)5001 " 玉上信明 (3286)8688 " 浅香博胡 (3252)1654 " 赤森伸子 (3543)2069	
岡本 晃一 (3862)7541 森 莞子 (3233)4488	広報 委員会	1. 支部会報の企画・立案及び発行に関すること 2. 社会保険労務士に必要なPRに関すること	委員長 牧野武夫 (3542)8611 副委員長 山本弘之 (3263)0931 " 山崎雅也 (3669)0677 委 員 熊谷和夫 (3265)7516 " 島田 久 (3862)7068 " 金綱久夫 (3291)4167 " 横尾直子 (3234)5274 " 石山幸子 (3667)2971	
岩田 省一 (3660)3032 富田 秀子 (3206)9245	厚生 委員会	1. 懇親会等の企画・立案及び開催に関すること 2. 旅行会等レクリエーションに必要な企画・立案及び開催 3. 会員のコミュニケーションに関すること	委員長 寺島忠夫 (3279)5920 副委員長 田中 功 (3264)3438 " 松林清雄 (3553)9601 委 員 石川 宏 (3255)7671 " 葛西 毅 (3861)7291 " 大槻哲也 (5275)2801 " 小口隆明 (3532)1534	

(順不同・敬称略)

より多くの会員を募り、 意見を結集しましょう

副支部長（厚生担当） 岩田 省一

本来ならば新委員長が抱負を書くところですが、諸事御多忙のため、不肖私が筆をとることになりましたので、私なりに一期の反省を含め一言申し上げます。

会員は、開業の方と勤務等の方にわけることになりますが、開業の方には日頃より1号会員としての共通の場での研修、親睦という和がもたれていることは十分うかがえます。

一方勤務等の会員のなかには、開業事務所に勤務されている方を除けば、企業内に勤務する方（労務、厚生等）や、健康保険組合、厚生年金基金等に勤務する方になると思います。いずれに勤務している方でも、社会保険労務士という資格をとり、労務士会の会員になることは多少のプラスにはなっても、現実的に大きな意義をもつものになっていないのが現状ではないで

しょうか。私共の身近で社労士の資格をもっている社労士会の会員にはならない方が大勢いることは知っています。これは、会費も自分で支払い、また会合があっても出席しにくいというのが原因のひとつではないでしょうか。

私共はこういう問題の所在を1人1人がよく認識し、率先してこうした難問を打ち破るべくあらゆる努力をしていかなければなりません。

今後は、より多くの会員を募り、その会員があらゆる会合で意見を出し合い、それを結集していくべきではないでしょうか。

みなさんの意見を反映させた研修を！

研修委員長

柏木弘文

このたび研修委員長を担当するようにと声がかかり、職責の重大さを十分に認識する余裕もないままにお引き受けしてしまいました。改めて「抱負を」と問われて、まだ右も左もわからないまま、とにかく社会党の土井委員長ではないが「やるっきゃない」という心境です。

研修委員会が行なう分掌業務は、

1. 研究会、講習会等の企画、立案及び開催

2. 社会保険労務士業務に必要な資料、情報等の収集と提供

以上主な2点をあげましたが、まず講師、会場等の選択とその調整を図ることが大変だと思っています。幸いにして本委員会のメンバーには経験豊富な有能な方々がおられますので、皆さんの御協力を得て円滑な研修ができるよう努力してまいりたいと思っています。

また、会員の皆さんの御協力

がなければ、研修の成果はあがりません。今年度の日程は下記のとおり決定しましたので、是非日程をお繰りあわせの上参加していただきたいと思っています。

そして、皆さんの御意見を反映させながら、研修等の事業を進めていきたいと思っていますので御協力のほどよろしくお願いいたします。

研修日程

- | | |
|----|------------------------------|
| 1回 | 6月12日(水) |
| 2回 | 7月10日(水) |
| 3回 | 9月11日(水) |
| 4回 | 10月18日(金)～19日(土)
(箱根一泊研修) |
| 5回 | 4年1月16日(木) |
| 6回 | 4年3月11日(水) |

支部という「土俵」にご参加を

総務委員長 恩田 和明

横綱千代の富士が引退し、大相撲界は新旧交代を迎えました。千代の富士が引退した後、一人横綱となりましたが頑張って優勝した旭富士。貴花田、若花田らの若手にぜひこの横綱を支えて、大相撲をこれまで以上に面白くして欲しいものです。ところで新支部長の相馬先生ですが、どこことなく旭富士に感じが似ていると思いませんか？ かく申す私は貴若という訳にはまいりませんが、新支部長を支えな

ればならない総務委員長という大役をお引き受けすることになりました。実力が伴わないのに大関になったような心境であります。幸い総務委員会には横綱クラスの先生方に加えて、元委員長の雨宮先生や実力派の吉瀬先生がおられます。委員各位のご協力を戴きながら、9勝6敗(?)以上の成績を上げるよう努力したいと思います。

さて、相撲にたとえて恐縮ですが、社会保険労務士も個人競

技的な面があり、千代田・中央支部は大部屋であります。会員皆様が支部という土俵に参加し、お互いに稽古をし合い強くなってもらいたいと思います。総務委員長はの場合「呼び出し」役で、皆様が気持ちよく稽古が出来ますよう支部という土俵上を掃くのが役目ということでしょう。

そうした意味で、支部を盛り立てて戴くのは会員の皆様自身だと思いますので、支部の事業(稽古)である研修会や行政協力、厚生事業などへの積極的な参加をお願い申し上げ、抱負に代えさせていただきます。

委 員 会	
報 告	

〈総務委員会〉

I. 第1回正副支部長・委員長
4月10日、東京都社会保険労務士会会議堂において開催

(1)報告事項

イ. 東京都社会保険労務士会諸会議の結果について
ロ. 平成2年度 部会・委員会収入支出決算報告について

(2) 協議事項

イ. 幹事の担当編成に関する件
ロ. 平成3年度 予算の配分に関する件
ハ. 平成3年度 第1四半期事業計画に関する件
ニ. 東京都社会保険労務士会第13回通常総会代議員の推薦方依頼に関する件

II. 第2回正副支部長・委員長会並びに第1回幹事会
5月8日、電設健保会館において開催

(1) 報告事項

イ. 東京都社会保険労務士会諸会議の結果について
ロ. 部会並びに委員会の活動状況について
ハ. 第1回正副支部長・委員長会の結果について

①平成3年度の予算の配分について

第一部会 30万円 第二部会 30万円
研 修 40万円 広 報 60万円
厚 生 30万円 支部経費 122万円
合 計 312万円

*以上の通り、昨年交付実績を踏まえ報告された。

②幹事の担当編成について(別掲)

③前支部長・総務委員長歓送会の開催について

④「東京都社会保険労務士会シンポジウム・ビデオテープ」の頒布について

(2) 協議事項

イ. 第1回研修会の開催について

ロ. 第2回研修会の開催について

ハ. 平成3年度算定基礎届相談コーナー打合せについて

III. 第3回正副支部長・委員長会

6月12日、電設健保会館において開催

(1) 報告事項

イ. 第13回東京都社会保険労務士会通常総会・第11回東京都社会保険労務士政治連盟会定期大会結果について

ロ. 支部対抗野球大会について

ハ. 全国社会保険労務士厚生年金基金・国民年金基金設立報告会について

(2) 協議事項

イ. 第1回研修会の開催について

ロ. 前支部長・総務委員長歓送会並びに新旧幹事・監査の親睦会の開催について

ハ. 第2回研修会の開催について

ニ. 算定基礎届相談コーナー打合せについて

IV. 前支部長・総務委員長歓送会並びに新旧幹事・監査の親睦会

6月20日、番町グリーンパレスにて開催：出席者27名

講演「ポスト湾岸戦争と日本経済の動向」

日本興業銀行調査役

吉村 一男氏

今なぜドルが上っているのか、日本の金利がこれからどうなっていくのかを専門家である先生にご講演いただいた。

先生は、近著「株は死んだか」(日本経済新聞社)がベストセラーになっている方である。

ドル及び米国経済は順調に回復過程にある

85年度以降日本が円高と貿易摩擦のため、米国内に最先端の技術と設備をもった工場を建設し、従来米国が輸入していた弱い産業(家電・乗用車・半導体メモリー)をアメリカの工業製品として輸出に転じさせ、それが景気を支え、国際収支の赤字を減らした。また、ドルに対し円高の期待よりむしろ円安のリスクに備えることが重要である。

ドイツの国家統合後の経済情勢

国家統合後、東ドイツの失業者増大による財政赤字拡大と復興需要で経済過熱のため金融引き締め政策をとっている。「復興→失業者吸収」という期待は公害と土地所有権の制約から破綻している。旧西独は景気がよいが、英仏は為替レートが一定の幅に固定されているため、英仏の金利が独の高金利の影響を受け、だんだん景気が悪くなってきている。

日本の経済はどうか

日銀は金利をなぜ高くしているか

これには2つの要因がある。1つは87年から89年にかけての公定歩合2.5%・長期金利5%が異常な金利安であったこと。これは85年から87年にかけて為替レートが240円から120円に急落したことによる黒字減らしと内需拡大をはかるための低金利政策であったから、そのつけは不動産と株価の高騰という資産インフレとなつてあらわれた。もう1つは強すぎる景気である。87年から90年まで4年連続5%の成長は至るところで需給の逼迫をひきおこしている。どの位の成長率がよいかの基準は、インフレを加速することなしに成長する率として潜在成長率が使われるが、3.5~4%で今の成長率がこれ以下に落ちてこない、逼迫度合は緩和されない。91年、賃上げや設備投資から3.5%の成長はありうるし、インフレも賃金上昇を要因としてこのまま続くと考えられる。従って、日銀が89年5月からとっている金融引き締め政策の目的からして、金融の大

幅な緩和はあり得ない。

今後の金利の動向は、現在、長期より高い短期金利は下がるが、長期金利や借入金利は、ほぼさがらにとみる。むしろあがる可能性がある、長期の固定金利で借りるなら今がよいと勧めているところである。
今後の資金需要とその調達について

日本の経常収支の黒字は、名目GNPに対する比率1%の300億ドルでピーク時の4分の1以下に縮小している。湾岸戦争支援で更に縮小する状況である。世界的にも、クエートとイラクの再建資金、ソ連東欧の市場経済移行と資金需要は大きい供給も逼迫しているのである。日本国内では、低金利時代の過大な社債発行と、株式運用した財テクのつけをこれから払っていかなければならない。バブル破裂のゆえに、厳しい状況に立たされている企業は、ここにきて銀行との関係強化や、ユーロ市場での社債の発行という方法で対応してきている。

金利の自由化は何をもたらすか

これから金融の自由化・業務の自由化という変化がある。従来預金金利には上限があり、市場金利があがると銀行は安定的な利ざやを確保できた。企業は市場金利よりも低い金利で資金調達できた。自由化によって、銀行の利ざやが減ったり赤字になることもある。また、企業の借入れ金利があがる。だから金融活動の国際化にともないリスクを防ぐため自己資本比率を高めることが大切である。多少のリスクがおきても吸収できる体力をつけるということで、8%の規制がある。個々の銀行によって自己資本比率が違い、そこへ金利が自由化となつたので、サービスの内容、有料化、貸出金利の違い等が銀行の力に応じてでてくる。これからは取引する銀行によって企業経営や個人の生活に格差がでてくる。

最後に

日本は世界の孤児とならぬよう、また、アジアの中で「日本と一緒にやりたい」といわれるようでありたい。

(高橋美実子記)

都知事以下84名推薦 当選者76名、当選率90.5%

——統一地方選結果——

さきの統一地方選には、なにかとご協力をいただき、ありがとうございました。おかげで、当選率90.5%の高率をあげることができました。

千代田中央支部からは中央区議会議員、日本社会党富永克子氏1名の推薦でしたが見事4期連続の当選を果たされました。

ご案内のように千代田中央支部は直接選挙に影響のある地元会員が会員数の割には、極めて少ないため、立候補者からの推薦依頼は、予想以上に低調でした。

今後、政治活動を展開するうえからも、おおいに検討すべき課題でしょう。特に区民相談コーナーの設置には、区議会関係者の積極的な協力が是非とも必要であります。私どもの団体に理解を示してくださる議員の方々には、日頃から政治的支援を大事にしなければなりません。会員皆様からの情報をお待ちしております。

ご参考までに候補者別当選者数一覧表をご覧ください。

	推薦	当選	当選率
都 知 事	1 名	1 名	100 %
都 議 会 議 員	2	2	100
区 長 (市長を含む)	11	9	81.8
区 議 会 議 員	70	64	91.4
合 計	84	76	90.47

会 員 異 動 状 況

(単位:名)

項目 地区	平成3年1月31日現在			異 動 (増減)			平成3年5月31日現在		
	開 業	勤務等	計	開 業	勤務地	計	開 業	勤務地	計
麴 町	41	141	182	△2	4	2	39	145	184
神 田	63	125	188	0	△1	△1	63	124	187
日本橋	32	107	139	0	0	0	32	107	139
京 橋	44	100	144	1	△6	△5	45	94	139
合 計	180	473	653	△1	△3	△4	179	470	649

研修会の予告



10月18日～19日
研修会

(箱根「仙緑苑」・
関東地区デパート健康保険組合
保養所)

第一部会の皆さまへ

—第1部会実施のアンケートについて—

6月15日期限でお願いしましたところ部会員177名のうち73名(42%)の方からご回答を頂きました。集計結果は別途第一部会の皆様へお知らせいたします。

過日の業務推進委員会で、今後の活動に逐次とり入

れるため、その大筋にしたがって、業務情報、業務レベルアップ、対行政方針、事務所経営関連の四部門の担当者を決めました。

なお9月3日の研修会には、1～2号業務について日頃の思いを皆さんに大いに語っていただくよう企画しますので、ふるってご出席ください。

(第1部会業務推進委員会記)

あ と が き

編集長交代後、第1号の会報をお届けします。

浅学非才、編集長の重責を担うような人間ではありませんが、会員各位のご支援・ご協力をいただきながら、何とか大任を果たすべく頑張るつもりです。どうか、よろしくお願い申し上げます。



広報委員長・牧野武夫